三國志画傳（さんごくしぐわでん）

第七編一

三

207
898

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

三國志畫傳

二編三之巻

重田貞一譯
歌川國安画

仙鶴堂梓

曹操諸軍を引て鄴城に帰る

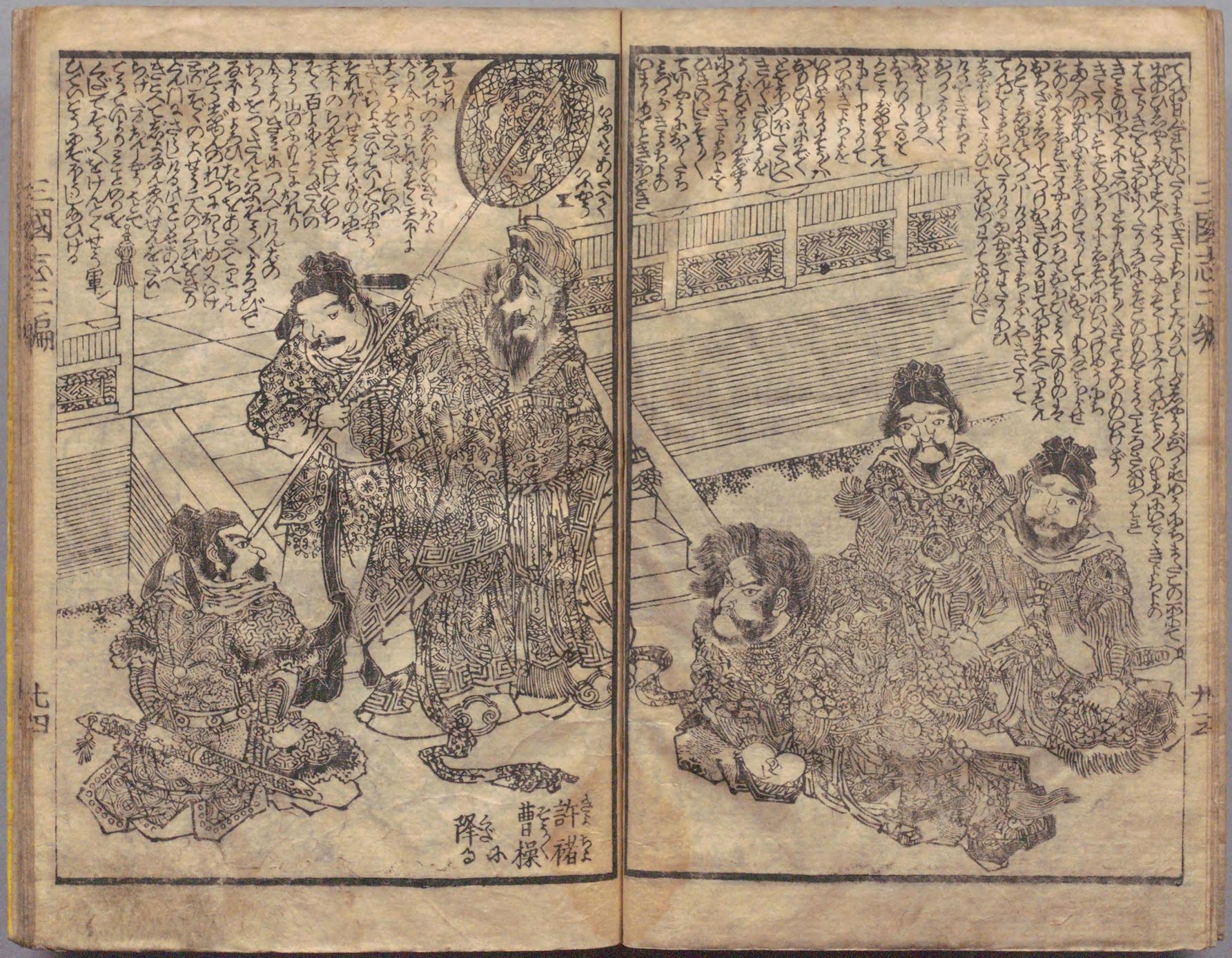
国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898
ガラス使用



国立国会図書館　三国志画伝 207-898
ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898
ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

天保三稔壬辰春　鶴屋喜右衛門發兌

瀧澤篁民著

迎福南鍼録（げいふくなんしんろく）

一名相宅手引草　全部五冊　近刻

近來選擇相宅の書年〻に出月〻に刊れて五車にみち汗牛に餘れる [illegible] 日用有益の良籍なり

右同著

雅俗傳奇（がぞくでんき）

大本全五冊繪入　平假名附　近刻

此書は雅と云く俗と云く其紀状に一奇ある古人の列傳を輯録てそ勸懲の一端と [illegible] 忠孝義烈尚氣節操の世に [illegible] 隠逸名聞技藝好事 [illegible]

女消息往来（をんなせうそくわうらい）

画入全一冊

世に消息往来といふものありて初心の人の文通の助となるも [illegible]

暦日講釋（れきじつかうしやく）

全一冊　劉卜子先生著

[illegible]

俳諧今四歌仙（はいかいいましかせん）

全一冊　梅室　禾木　桐雨　小圃　四大人乃作ゆく正風の俳調當時の流行おそらく [illegible] の書なり

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

壬辰孟春開市書目通油町仙寉堂藏

鐵鑓用心 農喩 全一冊	下野國 鈴木正長著
消息往来詳註 全一冊	高井蘭山述
合刻 壽福三世相大鑑 全一冊	
拳獨稽古 中本袋入一冊	山櫻漣々 逸軒揺舟作
教真草消息往来 繪圖註入 全一冊	
隅田川両岸一覧 北齋筆 袋入 繪本 全三冊	
江戸名所東鑑 蕙齋筆 同 以 全三冊	
江戸名所物見丘 清長筆 同 以 全二冊	
東海道五十三次 花の都路 諸大人 狂歌入 同 以 全三冊	
戯場顕微鏡 黙々漁隠作 同上帙二冊 以下帙二冊	

右五通り共極上品にして …

国立国会図書館　三国志画伝 207-898
ガラス使用

さてもげんとくはおもきこうありて今そう/\く
てんしをたすけてぞくぐんをやぶりきよせうふみやこを
うつしまいらせてつゝがなくおさまりしかバてんしのぞんと
おのとところへたちまちちよくしをたまはりてげんとく
せうぐんぎじやうていこうにふうぜられこのせつれいの
みとのりをたまはりぬ又そう/\くよりのあつきえんあり
とそ
ひとへにこれがやよふをとゝのへ
まてよとのふんでんこれあれバ
げんとくまづちやうひを
あよくおもてをまもらせおき
ばかりがおちんと
ひまをまつ
てうこのいまよう
やよふの人のうんを
あのかせてあざ
ありぎのおそれなくそう/\くの
ことさらをあたへばひろくこれを
のちのうちにひとをもちゐて
とやけれバせんとうをて
やよふのことやまさにとよせて
たのむとあらたなりのふしんあるのだや
これなきあとそう/\くのすいどとしたるべしやよふとうこれ
こゝろをあはせてひろくうとそそれぞれのことをのちのつぎ
こゝろとおもひてれ三人の中とらかくしんとうさんとのあたり
のびいらいうちてこのことのまへりをうまくすりとやけれバそれより
ちやうひへそのあんれいをやあげそう/\くのへんとおへやよふのえと
よくのあかるくていてふうあらまへかりとをまちてうちべしとぞのひつうけける

二編四之巻

三國志畫傳(さんごくしぐわでん)

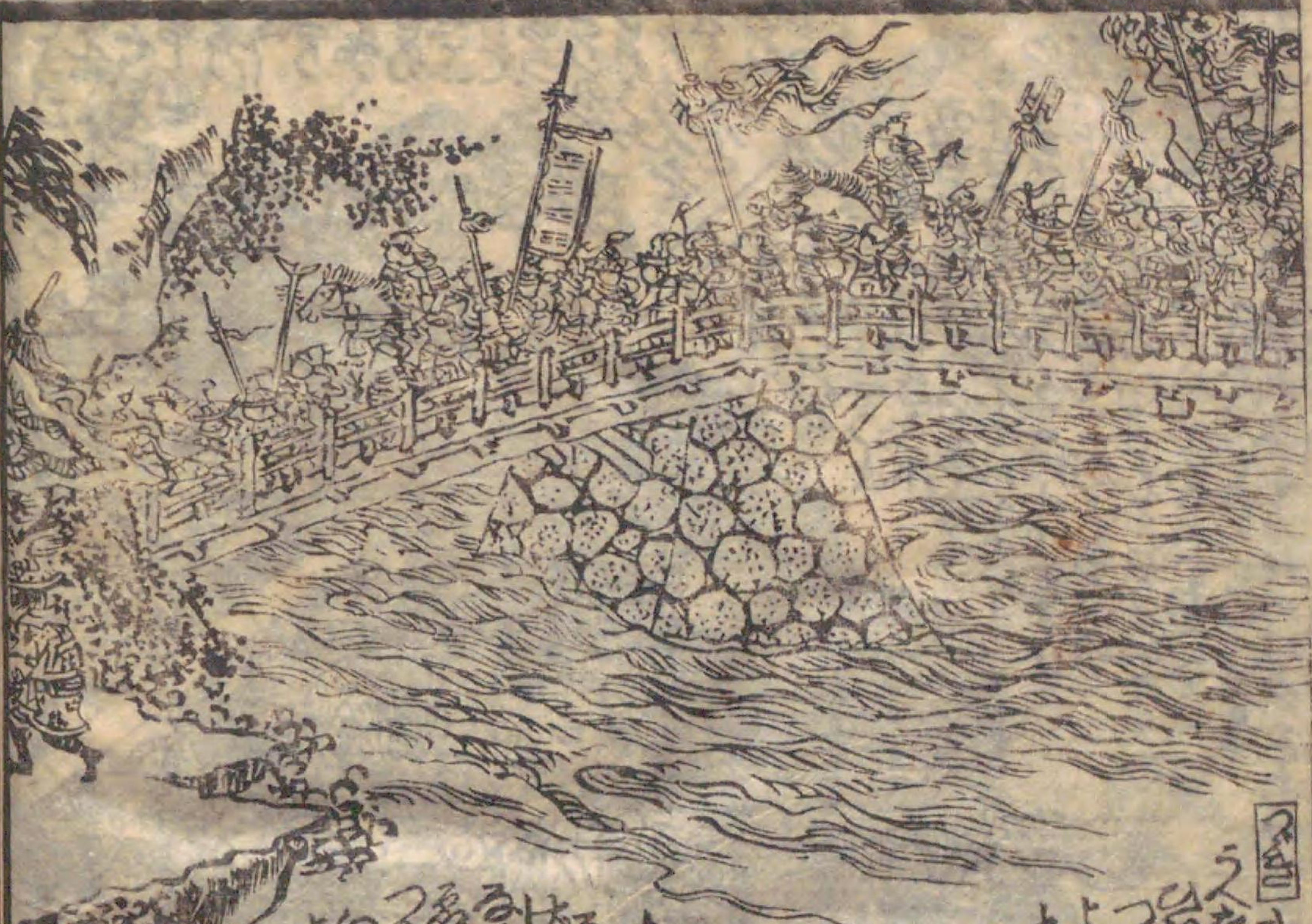
重田貞一譯
歌川國安画

仙鶴堂梓

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898
ガラス使用



[illegible]

玄徳盱眙の陣を引て廣陵へ退く

[illegible]

そのときちんきうはりよふをいさめて
やけるはりうげんとく今ゑんじゆつのためにくるしめ
られてまさにほろびんとするをいかでかたすけ
たまふべきと申しけれどもりよふはこれをき
かずげんとくをむかへてあつくもてなし
いよ〳〵なかよくなりけるを
ちんきうはなほ〳〵いさめけれども
りよふはさらにもちゐずげんとくはいたく
よろこびけれどもこゝろのうちには
やすからずおもひけるが
それよりげんとくのうへ
そのつぎをとひてみちを
うしなひけれども
ひとたびりよふにたのみける
あひだはげんとくも
りよふにしたがひけるが
つひにはりよふも
めでたくげんとくを
もてなしけるに
げんとくのこゝろもやすまり
つぎ〳〵にけらいをまねき
りよふとむつまじくなりて
すぐにりよふのもとを
さりしとかや

呂布(りよふ)玄徳(げんとく)を迎(むか)へ罪(つみ)を謝(しや)す

やよふはげんとくのこゝろざしをかんじ
そのみよせをうちつれて
げんとくのさいしを
のせてこゝろよくつれゆき
このくにへむかへられ
ありしたのかた
やよふのこゝろきゝ
あつくひとをつかはしけるが
ゆえにげんとくその
のちよろこびて
せいしうへ入り
けるまでこゝろにかけ
あるひはひとをつかはし
さればけんとくはいまゝで
われこそとおもひしに
わがみにてこゝろをすてゝ
まことはそのこゝろをよせて
ちかひをさへとけるが
けんとくもこゝろにおもひ
そのゝちかんとかのひ
よくあつかひてそのみを
みなかへしてひとつをもつて
らいをまねきてむかへ
そのみはかへりゆきて
てんのこゝろをまもりて
めでたくそのみをもちひて
せいしうのまもりをかためける

ここに呉のくにはそんさくといふものあり [illegible]

（八）

[illegible]

孫策（そんさく）玉璽（ぎよくじ）を質（しち）として袁術（ゑんじゆつ）に軍兵（ぐんぴやう）を借（か）る

懐義校尉（くわいぎかうゐ）孫策（そんさく）

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

牛渚合戦

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

そのあくる日そんさく大ぐんを [illegible]

歌川國安画 十返舎一九作

御免江戸暦開板所 毎年十月下旬より賣出申候 [illegible]

載陽帖 南山禅師書 四季和文章石摺

東海道 木曽海道 道法早算用道中記 一枚摺

新撰 日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鍬形紹真筆

[illegible]

新撰 女古状揃園生竹 大本 半紙本 両品出来 髙井蘭山編撰

[illegible]

還魂紙料 柳亭種彦随筆 古画入 二冊

[illegible]

田舎老人輯 芦のひともと 幻住庵記引證

[illegible]

簑笠翁 随筆 玄同放言 初編二編共 [illegible] 第三編三冊 近刻

[illegible]

207
18
898

三畝若朱木校輯 芳州集 全二冊 板 開[illegible]

同輯 蘐蘭集 全二冊 追刻 [illegible]

歡童戯筆 遊言画手本 一名 烏羽繪早まなび 出来

廣益塵劫記 懐中早割大全 小本全一冊 [illegible]

新形染彩目 槿花手引糸 前北齋爲一筆 前編出来 後編嗣刻 [illegible]

芝居役者 似顔早稽古 後編全一冊 五渡亭國貞画 [illegible]

八文字自笑評 三箇之津役者評判記 藝品定 全三冊 [illegible]

即考百籤 全一冊 籤箱添 [illegible]

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用

国立国会図書館　三国志画伝 207-898

ガラス使用